

情報メディア学科 ディプロマ・ポリシー

情報メディア学科では、情報科学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 人とメディアの関わりとメディアが社会に与える影響を理解した上で、社会に果たすべき役割と責務を自覚し行動できる。〔情報メディアが社会に果たすべき役割と責務を自覚し行動できる能力〕
- (B) 情報メディア分野で提示される問題を解決するために、主体的・計画的・持続的に取り組むことができる。〔情報メディア分野の課題を主体的・計画的・持続的に取り組むことができる能力〕
- (C) 情報伝達を行う媒体である情報メディアに関する理論的・実践的な IT 基盤技術を理解し、適応することができる。〔情報メディアに関する理論的・実践的な IT 基盤技術を理解・適応する能力〕
- (D) メディア技術を利用することで、人間中心の考え方をもとにした情報環境を作り出すことができる。〔メディア技術を利用し人間中心の情報環境を創り出す能力〕
- (E) 自らの考えを伝達するため、情報メディアの特性を利用した効果的なプレゼンテーションおよびコミュニケーションを行うことができるとともに、他者と協働して活動することができる。〔コミュニケーションおよび他者と協働して活動できる能力〕